ヤンマーとヤマハ発動機

米国ROV事業で業務提携

3人乗り、6人乗りの2型式

ヤンマー㈱＝大阪市北区茶屋町1―32・山岡健人会長兼社長＝とヤマハ発動機㈱＝静岡県磐田市新貝2500・柳弘之社長＝は4日、米国で農業、酪農やレジャーなど幅広い用途で使用されているROV（レクリエーショナル・オフ・ハイウェイ・ビークル）の事業で業務提携することに合意した。本年12月からヤマハ製ROVの3人乗りと6人乗りの2型式をヤンマー仕様にしてOEM供給し、ヤンマーは来年1月から米国で販売する。

両社はものづくりで市場を創造・開拓するという同じ価値観を有し、これまで産業用無人ヘリ、発電機と除雪機の取引実績がある。

今回の業務提携の目的は、ヤマハの技術力・製造ノウハウと、ヤンマーの米国農家向け販売網という両社の強みを活かした販売拡大。また、ヤンマーは長年、ROVを含む米国の農業用運搬車両市場にディーゼルエンジンとドライブユニットを供給してきたが、この提携によりROV製品販売に参入する。

ヤンマーブランドで販売するROV（3人乗り）

OEM対象のヤマハROVは3人乗りで実用性、快適な走行性と居住性を兼ね備えた「VIKING」と、6人乗りで乗車時の快適性と優れた走行性を高次元で達成する「同Ⅳ」。ジョージア州のYamaha Motor Manufacturing Corporation of America で生産し色彩や外装デザインをヤンマー仕様に一新してガソリンエンジン搭載の同社ブランド新製品モデルとして販売する。

やまびこ

第一四半期決算発表

売上高304億円で6.8%増

永尾社長

㈱やまびこ＝東京都青梅市末広町1―7―2・永尾慶昭社長＝は10日、平成29年度の第1四半期連結業績を発表した。それによると売上高304億3200万円（前年同期比6・8%増）、営業利益27億1600万円（同49・7%増）、経常利益16億2000万円（同26・1%減）、四半期純利益10億1700万円（同45・8%減）となった。

損益面で営業利益は円高により利益率が悪化したものの、販売数量の拡大が利益を押し上げたことなどにより増加、経常利益は主に為替差損の計上により減少、四半期純利益は製品保証引当金繰入額の計上による特別損失などにより減少となった。

内訳を見ると、国内売上高113億8500万円（同3・5%増）、米州売上高161億円（同6・6%増）、米州を除く海外売上高29億4600万円（同22・8%増）となった。国内農機は、前期に適用されたディーゼルエンジン排出ガス規制による駆け込み需要の反動がトラクタなどで見られたが、春先の天候の安定や農機具等リース応援事業などにより概ね堅調に推移し前年並みとなった。

セグメント別では小型屋外作業機械が180億4千万円（同9・4%増）、農業用管理機械は53億1900万円（同4・1%増）、一般産業用機械は19億7400万円（同7・3%増）、その他は50億9800万円（同0・7%増）となった。

小型屋外作業機械は、国内は主力の刈払機が主にホームセンタールート拡大により伸長。加えて、新製品効果などが好調に推移し増収。海外は主力市場の北米が拡販策の成果で伸長。西欧も新製品効果などで販売数量が増加。ロシアも前期の在庫削減策の効果などが堅調に推移し増収となった。

農業用管理機械は、キャンペーン効果が顕著だったモアやチッパーのほか、乗用管理機などが伸長し増収。海外は、主にポテト収穫機などの更新需要により増収となった。

永田製作所

手動式スプレーカート

「スプレーバギー8」発売

㈱永田製作所＝大阪市西淀川区千舟1―5―41・☎06（6473）0835・田中寿和社長＝はビニールハウスなど施設栽培で活躍する手動式スプレーカート「スプレーバギー8（エイト）」（写真）を発売した。

立木野菜・花卉用の薬剤散布に最適。作業現場の声を反映させ、本体はスチール製の低重心かつ安定性のある設計。大型ノーパンク4輪で走行中ふらつかず、操作性・作業性が大幅にアップした。

車幅は収穫台車に合わせたサイズでハウス内での取り扱いが容易。ハンドル高さは作業者に合わせて調節できる。

散布用噴口は扇型ノズルが左右4か所、計8個搭載。角度が上下に自在に調整でき、作物に合わせた作業や葉裏散布を実現。ノズルは斜め前方に向いているので、作業者への負担を軽減。それぞれに止水のための噴霧口ストップ機能付きで、無駄な散布を解消した。左右の噴霧管はハンドル手元のバルブ操作で片側散布に切り替え可能。低コスト作業に貢献する。

今回紹介した商品の他、同社はスプレーノズルなど多彩な製品を扱っている。詳細はhttp://www.nagataseisakusyo.co.jpまで。

〈仕様〉▽寸法＝全高1745×タイヤ幅410×奥行810～990ミリメートル▽ハンドル高さ＝800～980ミリメートル▽重量＝16・4キログラム

石井製作所

新工場が完成

火災から1年余りで復興

完成した新工場

㈱石井製作所＝山形県酒田市局字惣田15―2・☎0234（93）2211・石井正三社長＝は酒田市京田西工業団地に建設中だった新工場が完成し、8月10日その落成式を行った。

同社は昨年6月8日、不慮の火災事故により工場を消失。現在は仮事務所において営業を行っているほか、酒田市・鶴岡市内の工場を借り生産を継続しており、取引先などからは早期の事務所・工場の再建が待たれていた。

落成式には、工場建設関係者など30人が出席し神事が執り行われた。会社を代表し挨拶した石井智久専務は「突然の火災から復興まで、1年間という短い時間の中で設計から落成に至ったことに対し皆様に深く感謝申し上げます。今後は酒田市を代表する企業として胸を張れるよう頑張ってまいります」と謝辞を述べた。

完成した新工場は、敷地面積8300平方メートル、延べ床面積3300平方メートルの平屋1階建て。18日より稼働を始めるが、本社機能の移転については繁忙期を避け11月初旬に行う予定。18日より稼働も事務所移転終了後の11月にあらためて行う予定となっている。

新工場完成にあたり同社では「以前の工場ではできなかった工場の見える化を推進し、品質の改善・生産の平準化により利益創出を図れる工場を目指す」としている。

SAITO 豊かな恵を築く
収穫の秋に、強い味方！ サイトー 穀類搬送機
アト夢
NEW メッシュホースコンテナ「アト夢」に ニューモデル追加!!
アト夢Light
小径バネコン採用で 軽量 ＋ 操作性UP
●電源コードは取り外し式で邪魔にならない
●モーターベースロック機構で移動時も安全
単相100V KD-200 LV1 20/30/40 R
単相100V KD-131 L20/30/40
業界最大
排出能力 19t/h
50サイクル・60サイクル
●折りたたみ収納可能
●着脱はワンタッチ方式
大好評！
トラックコンベア Saito ZT シリーズ
KD-08/11/15/22/31 ZT
（最大積載量：0.8t～3.1t）
KD-11ZT 30R6
カタログはホームページでもご覧いただけます。http://www.saitonouki.jp
株式会社 斎藤農機製作所
http://www.saitonouki.jp/
●本社・工場 〒998-0832 山形県酒田市両羽町332番地 TEL 0234(23)1511㈹ FAX 0234(26)4161
●北海道工場 〒079-0181 北海道岩美沢市岡山町18番地 TEL 0126(24)5401㈹ FAX 0126(24)5402
●九州営業所 〒861-8039 熊本市長嶺南1丁目1番10号 TEL 096(384)6865㈹ FAX 096(384)5864
●大阪営業所 〒590-0808 大阪府堺市旭ヶ丘中町1丁目6番29号 TEL 072(245)0797㈹ FAX 072(245)0818